

第二十五回一茶ゆかりの里俳句大会 入賞句

一茶ゆかりの里大賞 夕東風や父の帰って来そうな日

大阪府 嶋岡 柳花

長野県教育委員会賞 一人よりふたりの影のあたたかし

群馬県 吉田 美津江

高山村教育委員会賞 祭り中止口の重たき村となり

神奈川県 おおもり じゅん子

長野県俳人協会賞 麦の秋遠くの風がよく見えて

長野市 常盤 しがこ

須高俳句連盟賞 一茶待つかに日溜りの寒雀

岐阜県 村田 通夫

信濃毎日新聞社賞 虫籠を吊りたる村の駐在所

新潟県 井澤 秀峰

須坂新聞社賞 大いなる夜気牧草と銀河接ぐ

東京都 遠藤 玲奈

高山村文化協会賞 溶岩のマグマに戻る炎暑かな

東京都 遠藤 玲奈

信州高山村観光協会賞 前山へ打ち込む祭太鼓かな

高山村 勝山 栄泉

高山村公民館賞 秋蝶に風の重たき信濃かな

高山村 勝山 栄泉

高山俳壇賞 地下足袋の歩巾に落とし芋植うる

飯山市 伊東 宣和

高山俳壇賞 増えてゆく凶鑑の付箋捕虫網

岡谷市 西村 はる美

高山俳壇賞 桜漬湯飲みに咲きて棟上がる

高山村 佐藤 喜代美

高山俳壇賞 林檎の香匂ふ一村一茶の地

須坂市 高野 閑林

高山俳壇賞 ひかえめに生きて晩節一茶の忌

山梨県 谷内 京子

高山俳壇賞 雪だるま一茶は鼻を高く挿す

大阪府 濱田 昭

高山俳壇賞 夏雲を軽くまとひて母逝けり

和歌山県 中島 走吟

高山俳壇賞 雪囲取れて明るき一茶の地

長野市 西方 来人

令和三年十月二十四日